2027年度春セメスター
常磐大学科目等履修生（留学履修生）募集要項

この募集要項は、常磐大学（以下「本学」という。）の学生以外の人（海外に住所を有する外国籍の方に限ります。）で、2027年4月から本学が開設する授業科目のうちのいずれかまたは複数の授業科目を選んで履修しようとする人を対象としたものです。本学の授業および研究に妨げのない限り、選考のうえ、科目等履修生（留学履修生）として入学を許可します。

1. 募集学部
常磐大学（人間科学部、総合政策学部） ※ただし、人間科学部健康栄養学科を除く

2. 入学時期
2027年4月（2027年度春セメスター）

3. 募集人員
各学部とも若干名

4. 履修可能科目・単位数
(1) 留学履修生が履修できる科目は、通常の学部課程科目に加え、留学生を対象とした「日本語科目」、「日本事情科目」、「日本研究科目」があります。
① 学部課程科目
留学履修生は、それぞれの関心や専門に沿って、通常の学部課程の科目を履修することができます。
※学部課程科目の受講は、日本語能力試験N2相当以上の日本語能力を有する人に限ります。（別表1参照）
※授業運営上、履修を制限している科目があります。（別表2参照）
② 日本語科目
留学履修生で日本語科目の履修を希望する場合は、日本語のプレイスメントテストを受けていただきます。
③ 日本事情科目／日本研究科目
日本の社会、文化、歴史など日本を様々な側面から学ぶ科目が英語または日本語で提供されます。
(2) 履修できる科目は、開講が確定している授業科目に限ります。また、実験、実習、実技、および演習など、予め履修を制限するものがあります。
(3) 履修登録者数が10名以下となった授業科目は、開講を取り消す場合があります。
(4) 履修できる授業科目数・単位数については、特に制限はありません。ただし、「留学」の在留資格を取得し本学に在籍するためには、週10時間以上の履修が必要です。本学の場合、7科目以上の履修が必要となります。

5. 事前相談
(1) 本学の科目等履修生制度を利用することで、ご自身の目的が遂げられるか否かを確認するために、出願の前に必ず事前相談を受けてください。事前相談を希望する人は、本学国際交流語学学習センターに、必ずメール（E-Mailアドレス：intlco@tokiwa.ac.jp）でご連絡ください。
(2) 事前相談は、国際交流語学学習センター委員会の委員と留学生科目担当教員がオンラインで行います。さらに、推薦状（「9. 出願書類」を参照）を作成した推薦者2名の教員ともオンラインで面談し、学修状況や生活態度などを確認させていただきます。

6. 出願資格
下記の(1)～(7)のすべての要件を満たす必要があります。
(1) 次の要件のいずれかを満たす人
① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した人
② 通常の課程による12年の学校教育を修了した人
③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人
④ 本学における個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、入学の時点で満18歳以上の人

(2) 高等教育機関等に在籍中の人
学位もしくは称号の授与権を有する大学院、大学等の高等教育機関またはこれに準ずるものと本学の学長が認めた教育機関に在籍中の人（当該教育機関を卒業または修了する意思を有する人でなければなりません）
※上記の教育機関は、日本国外に所在するものに限ります。

(3) 事前相談を受けた人
事前相談を受けていない場合は出願できませんので、必ず指定期間内に相談してください。

(4) 本学で科目等履修生として勉学可能な日本語能力を有する人（別表1を参照）

(5) 勉学に必要な学費および生活費を有している人

(6) 入学の時点で満18歳以上の人

(7) 「出入国管理及び難民認定法」による「留学」等の本学において留学履修生として勉学可能な在留資格を取得または更新することができ、日本での勉学の継続が可能な人
※在留資格取得のための在留資格認定証明書の申請は、本学国際交流語学学習センターが代理で行いますが、在留資格認定証明書が取得できなかった場合でも本学は一切の責任を負いません。

7. 選考方法および日程

(1) 選考方法
出願書類による書類選考およびオンラインによる面接を行います。

(2) 合格発表
出願者本人に発送します。

(3) 日程

項目	日付
事前相談期間	2026年8月10日（月）～10月2日（金）
選考料送金期間	2026年10月14日（水）までに着金
出願期間	2026年10月16日（金）～11月5日（木）
選考期間	2026年11月9日(月)～12月2日（水）
合格発表	2026年12月11日（金）
在留資格認定証明書申請手続	2027年1月上旬
授業料等送金期間	在留資格認定証明書の取得日から1週間程度
在留資格認定証明書交付・発送	2027年3月上旬
現地在外公館で査証取得	2027年3月中旬
国際交流会館への入居日	2027年4月1日（木）または4月2日（金）
入学手続日	2027年4月1日（木）
オリエンテーション	2027年4月5日（月）

※ 上記の日時は、いずれも日本における日時です。
※ 期間のあるものは、土曜日、日曜日、日本国の祝日及び本学の休校日を除きます。
※ 国際交流会館への入居できる日は上記の2日間のみです。これより前に入居することはできません。
※ 授業料等の支払いが確認できるまで在留資格認定証明書の送付はできません。期限までに支払いがない場合、入学許可が取り消されることがあります。
※ やむを得ない事情により、オリエンテーションの出席が難しい場合には、事前に国際交流語学学習センターまでご連絡ください。

8. 出願方法

(1) 出願書類
① 書類は、募集要項に添付してあります。「9. 出願書類」を確認のうえ、該当する書類を使用してください。

(2) 選考料
① 選考料は、日本円で10,000円です。
② 納入された選考料は、いかなる理由があっても返金できません。
③ 選考料は、予め指定の銀行口座に日本円で送金してください。
【指定口座】 常陽銀行本店営業部
普通預金 No. 1967640
口座名義 常磐大学

(3) 出願書類提出方法

出願書類に不備がないことを確認のうえ、スキャンしてPDFファイルに変換し、下記提出先へEメールで送付してください。

【提出先】　常磐大学国際交流語学学習センター

Eメールアドレス： intlco@tokiwa.ac.jp

9. 出願書類

(1) 科目等履修生志願書（本学所定用紙） 1通
(2) 所属する教育機関（大学等）の在籍証明書 1通
(3) 所属する教育機関（大学等）の成績証明書 1通
(4) 指導教員２名の推薦書 各1通
(5) 健康証明書（本学所定書式） 1通
(6) 日本語能力を証明する書類の写し（別表1を参照） 1通
(7) 誓約書（本学所定書式） 1通
(8) 在留資格認定証明書を取得するために必要な情報を記した文書（本学所定書式） 1通
(9) 顔写真とパスポート番号が記載されているパスポートのページの実物大、高解像度の写し 1通
(10) 資金援助者の銀行預金残高証明書 1通
(11) 経費支弁書（本学所定書式） 1通

※ 経費支弁書は、銀行預金残高証明書の口座所有者が記入する必要があります。学生自身が口座所有者であれば、自分自身でこの書類を記入することになります。

※ 生活費は1ヶ月で約55,000円必要です（4ヶ月の場合は220,000円必要です）。(2026年7月時点参考額)

(12) 写真（上半身正面、縦 4.0cm×横 3.0cm、3か月以内に撮影したもの） 1枚

【出願書類に関する留意点】

出願書類のうち、(2)、(3)、(4)、(10)の書類は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語または英語で作成されたものを提出できない場合は、原本を日本語または英語に翻訳した文書を添付のうえ、提出してください。

10. オリエンテーション

入学後の諸手続については、オリエンテーションにて説明しますので、必ず出席してください。

11. 授業料等

(1) 選考料 10,000円
(2) 登録料 10,000円
(3) 留学事務取扱料 実費
(4) 履修費

講義および演習 1単位当たり 15,000円
実験、実習および実技 1単位当たり 30,000円
※実験、実習および実技の実費については別途徴収
＜例＞ 7科目（14単位：講義および演習）を履修する場合（入学初年度）
選考料10,000円 登録料10,000円
履修費210,000円（@15,000円×14単位） 合計 230,000円
※この他に留学事務取扱料として実費が徴収されます。

《注意》

1. 上記の各納付金は、指定された期日までに必ず納入してください。
2. 既納の納付金は、原則として返金しません。ただし、本学の都合による授業科目の開講取消しがあった場合のみ、当該科目分の履修費を返金いたします。

12. 在籍期間

(1) 入学を許可された人の在籍期間は、原則として1年以内です。
(2) 在籍期間中は、セメスター毎に、受講を希望する授業科目を開設している学部別に「科目受講願」を提出し、受講許可を得ます。

13. 入学後の注意事項とお知らせ

(1) 学籍における所属は、入学年度に履修する授業科目を開講する学部となりますが、「1. 募集学部」に記載されている学部のうちのいずれかとなります。

(2) 前記(1)の所属にかかわらず、人間科学部および総合政策学部が開講する授業科目を受講することができます（ただし、予め履修を制限されている科目を除く）。

(3) 特に定めのない限り、正規学生に適用される諸規則に従っていただきます。

(4) 希望する授業科目を履修するには、授業科目担当者の承認が必要となります。場合によっては、当該授業科目の履修が認められないことがあります。

(5) 単位修得の証明を希望する人には、単位修得証明書を交付いたします。

(6) オリエンテーションにて配布する、「科目等履修生学籍簿」を提出していただいたのち、「科目等履修生証（学生証）」を交付いたします。「科目等履修生証」は必ず携帯し、本学教職員から提示を求められたときは、それに応じなければなりません。

(7) 情報メディアセンター（図書館）をはじめとした学内施設を利用することができます。
※利用には、登録手続きが別途必要な施設もあります。詳細はオリエンテーションで説明いたします。

(8) 入学後に在留資格が取り消されたときや更新ができないときは、直ちに国際交流語学学習センターに連絡してください。

(9) 履修期間が終了したら、速やかに帰国してください。

14. 日本での滞在方法

(1) 留学履修生は、本学の国際交流会館（学生寮）に滞在しなければなりません。国際交流会館は、以下の利便性を備えています。

① キャンパスへ徒歩 10 分程度
② 全館で WiFi でのインターネットアクセス可
③ エアコン完備の 3 つの個室と共用のリビングルーム、シャワー・トイレから成るユニットに滞在
共用リビングルームには冷蔵庫付きの簡易台所あり。また館内には居住者全員が利用できる大きい台所とダイニングルームあり
④ 寮監が一定時間滞在
⑤ キャンパス内のジムの利用（要予約）

(2) 国際交流会館に滞在するには以下の料金がかかります。

① 入居費　10,000円（入居時1回のみ） ※入居費は、2027年4月に変更となる可能性があります。
② 寄宿料　25,000円※（毎月） ※左記寄宿料は、2026年7月時点の金額であり、2027年4月に改定予定です。
これらの経費を入居時に一括して納付する必要があります（4月～8月の滞在であれば入居費10,000円、寄宿料125,000円（25,000円×5ヶ月分）の合計135,000円が必要です）。

(3) 上記(2)で納付した入居費および寄宿料は、在籍期間中に退去または帰国した場合でも原則として返金しません。

15. 留学履修生の義務および奨学金

(1) 本学に滞在する間、留学履修生が就労して金品を受け取ることを禁止します。

(2) 本学に滞在する間、留学履修生は、本学が実施するさまざまな国際交流活動（外国語会話交流活動や授業補助者としての活動など）に参加することが強く推奨されます。

(3) 上記(2)の活動に参加する場合は、1セメスター当たり40,000円を限度として月額10,000円の奨学金を支給します。

16. その他の費用

上記に記載する費用の他、留学履修生は以下の費用を負担しなければなりません。

(1) 航空運賃および交通費
日本と自国間の往復の移動および日本国内の本学と空港間の移動については、各自で手配をし、その費用を負担しなければなりません。

(2) 実験等の実費および校外学習費
履修した科目内において行われる実験・実習・実技の実費や校外学習のための費用は「10. 授業料等」とは別に各自で負担しなければなりません。

(3) 海外旅行保険
各自の責任で海外旅行保険に加入し、その費用を負担しなければなりません（本学は、留学履修生の負傷または疾病等に関するいかなる医療費も負担いたしません）。

(4) その他の保険

上記(3)の海外旅行保険の他に、法律および本学の規則に基づいて、以下の保険に加入しその費用を負担しなければなりません。

① 国民健康保険料（月額約2,000円）
② 学生教育研究災害傷害保険（年間1,340円）
③ 留学生総合保険（年間11,500円）

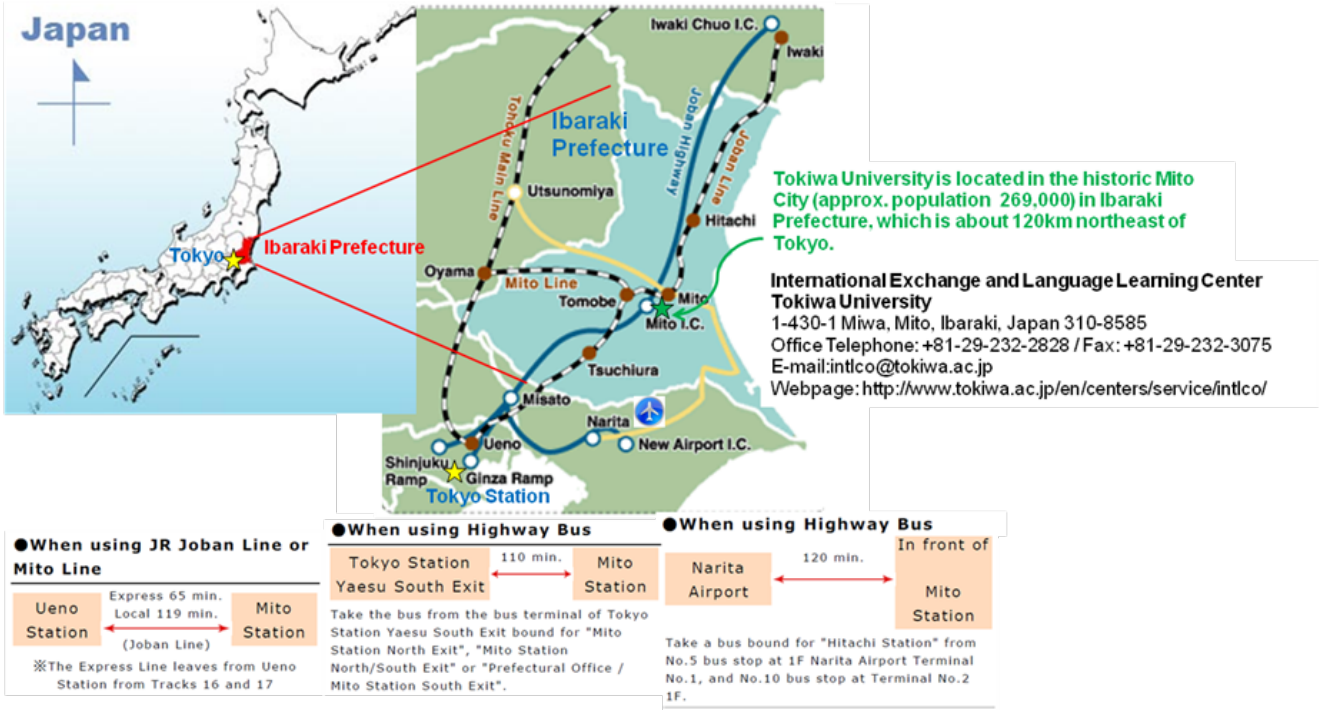
＜別表1＞

春セメスターに入学する留学履修生は、留学生対象科目以外の科目も受講することになるため、下記の日本語能力が必要とされます。

日本語能力試験（JLPT）の N1（1 級）又は N2（2 級）に合格した者（※主催：公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金）、あるいは同等の日本語能力を有する者。 なお、JLPT 合格者については、「日本語能力試験（JLPT）成績証明書（2025 年 12 月以降に受験した場合は、日本語教育の参照枠における B2 または C1 のいずれかが表示されているもの）」を提出してください。

※上記以外の日本語能力を証明する試験の合格やスコアについても認められる場合がありますので、その場合は事前相談の時に申し出てください。

＜常 磐 大 学 案 内 マ ッ プ＞



【問い合わせ先】

常磐大学　国際交流語学学習センター

日本国茨城県水戸市見和1-430-1

電話番号：+81-29-232-2828、Fax番号：+81-29-232-3075

Eメールアドレス：intlco@tokiwa.ac.jp

別表３　2027 年度履修対象外科目一覧

科目等履修生（留学履修生）の履修に関して、以下の科目は原則として対象外科目とする。
※　履修対象外科目については、追加・削除等がある可能性がある。

【常磐大学】
学部共通科目

教養科目	ウェブデザイン基礎演習 健康スポーツＡ・Ｂ	グラフィックデザイン基礎演習
語学科目	英語Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ･Ⅳ･Ⅴ･Ⅵ	
全学基本科目	学びの技法Ⅰ・Ⅱ 情報の処理Ⅰ・Ⅱ キャリア形成と大学	統計の基礎 情報の処理 海外研修Ａ・Ｂ・Ｃ
グローカル科目	地域文化研究Ａ・Ｂ・Ｃ	地域社会研究Ａ・Ｂ・Ｃ

人間科学部

心理学科	心理学実験Ⅰ・Ⅱ 臨床心理学実験実習	基礎・応用心理学実験実習 心理実習
教育学科 学科共通科目	介護等の体験 小中教育実習（事前事後指導を含む）	学校インターンシップＡ・Ｂ・Ｃ
初等教育コース	初等音楽実技Ⅰ・Ⅱ 初等教育実習（事前事後指導を含む）	初等体育
中等教育コース	中等教育実習（事前事後指導を含む）	
現代社会学科	社会調査実習	
コミュニケーション学科	コミュニケーション実習	日本語教育実習
全学科	ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業論文Ⅰ・Ⅱ

総合政策学部

学部共通科目	総合政策入門	
経営学科	キャリア開発論 ビジネス専門演習 秘書学概論	ビジネス基礎演習 ビジネス ICT 演習
法律行政学科	法律行政学概論 社会安全政策演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	法律行政実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
総合政策学科	総合政策学概論 フィールドワークＡ・Ｂ 環境地理学演習	フィールドワーク入門 まちづくり論 デジタルアーカイブ実習
（旧カリキュラム２０２３年度以前）	総合政策演習（政治・行政） 自然地理学Ⅰ	総合政策演習（経済・経営）
全学科	基礎ゼミナール 卒業論文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	ゼミナールⅠ・Ⅱ